



国際会長 (IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

“Building today for a better tomorrow”

「よりよい明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長 (AP) 田中 博之 (東京多摩みなみ)

“Action!” 「アクション」

東日本区理事 (RD) 山田 敏明 (十勝)

「勇気ある変革、愛ある行動！」

“Innovation with Courage, Action with Heart”

湘南・沖縄部部長 (DG) 森田 幸二郎 (沖縄)

「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、地域、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Community, With Y's Men!”

会長 古田 和彦
副会長 金子 功
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 金子 功

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

古田 和彦

「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。これが最も重要な第一の掟である。第二もこれと同じように重要である。隣人を自分のように愛しなさい。」

(マタイによる福音書 22 : 37.38)

今月のひとこと

「2019-2020年度を迎えて」

古田 和彦



前年度に引き続き、会長を拝命し、一段と身の引き締まる思いです。昨年1年、YMCA理解とYMCA諸行事への支援・参加に力を注いできましたが、新しい会員を迎え入れることができず、むしろ、1名の減少になりました。年度初め、12名は過去最低の水準

です。

今年度、改めて思いますのは、私自身がワイズメンズクラブの働きの本質をしっかりと語ることができる者となり、その働きに賛同してくれる方を掘り起こすことが肝要であるということ。そのためには、これからの1年、毎回の例会、YMCA支援活動、地域奉仕活動の内容とともに、どのように発信していけるかが問われています。

今年度のクラブ主題を「YMCA、地域、ワイズメンと共に！」と決めました。昨年のクラブ主題に“地域”を加えました。今年度も昨年同様YMCAの学び、支援はわがクラブの活動の中心として継続するわけですが、それに加えて、私たちのクラブがおかれている地域について学び直し、その中から、今、求められ、必要とされることを見出し、ささやかでも貢献できる働きを進めていきたいと思えます。

もう一つは“ワイズメンと共に”です。ワイズメンズクラブは志を同じくする仲間同士のクラブ活動ですので、楽しく喜びのある交わりが不可欠です。時には横浜クラブの枠を超えて、気楽に楽しみ、互いを知り合い、親睦を深める例会や行事が多ければ多いほど良いのではないのでしょうか。

また、横浜クラブは2020年に90周年を迎えます。1930年12月15日、大阪、神戸に続き、日本で3番目のワイズメンズクラブとしてチャーターされました。現東日本区では最も歴史のあるクラブですので、90年の歩みを振り返り、記録することは私たちに与えられている使命でもあります。90周年は次年度になりますが、諸行事や記念誌などに備える年いたします。

<2019年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
13名	メン 7名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 7名	69 % (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 2090g 現金 1258円

＜7月の行事予定＞

キックオフ、Yサービス、ASF、RBM

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	18:30	第一例会・総会	中央Y
19-21			アジア大会	仙台
25			第二例会	中央Y
27	木	15:00	第一回部評議会	中央Y

「第一例会報告」

伊藤 誠彦

日時 : 6月13日(木) 18:30~20:30

場所 : 横浜中央YMCA811号室

出席者 : 青木、伊藤、大高、金子、古賀、田口、古田

金子ワイズの司会で開始。古田会長による開会点鐘、挨拶に続き、ワイズソング、ワイズの信条を唱和。松島ワイズが選ばれた聖句を松島ワイズ欠席のため金子ワイズが代読。

今例会の6月は「評価の月」でもあり、7月の総会を控え、1年間を振り返り評価することにした。従って、例会食事も卓話も無し。評価のための協議は、5月第2例会での決定に基づき、各自が準備した資料をもとに実施した。

事業結果報告では、総会資料に掲載すべき事業の範囲について意見が出た。即ち、横浜クラブが主体性を持って行った事業や行事はともかく、他の主体が主催した行事に参加しただけというようなものも含めるのかどうか、と言う問題提起である。これに対してブリテンに掲載されている事項が一つの目安に成るのではないかと言う意見があった。逆にブリテンで取り上げる記事の妥当性が問われることにもなる。

1年間の評価に関しては、実績を前向きに評価するだけでなく、課題を明確に指摘すべきとする意見も出た。総会資料の原稿は、会員数の減少、例会への出席率の低下など、解決すべき問題点を明確に示しているからである。尤も、その解決策は必ずしも容易ではない。

他にもいろいろと意見が出たが、続きは第2例会で協議することにした。

「第4回湘南・沖縄部評議会報告」

古賀 健一郎

日時 : 2019年6月15日(土) 14:00~16:00

場所 : 横浜中央YMCA 501号室

堀田哲郎部書記の司会により、佐藤節子部長による開会点鐘に始まり、ワイズソング、ワイズの信条を唱和、青木部担当主事の聖書朗読、祈祷により開会された。司会者により定足数が確認され、議事は佐藤部長によって進められた。

- ① 次期部長方針及び行事計画の承認に関する件(森田幸二郎次期部長) 次年度の部主題「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」とその部長方針を承認。
- ② 2018~2019年度部会計決算見込み報告の承認。
- ③ 2019~2020年度予算原案の提示を承認。(特にクラブ会員数について確認。CS活動支援金は協力金の範囲内で予

算計上)

- ④ チャリティラン(11月16日(土)に開催)において、実行委員長は森田幸二郎次期部長に、副実行委員長に古田和彦次期部長の就任を承認。
 - ⑤ 湘南・沖縄部大会プログラムの概要として、2020年2月22日(土)沖縄での開催を承認。事前にアンケートを実施し参加者数などを把握し内容に反映させたい。
 - ⑥ ロースターの発行について検討委員会の結果、継続検討とした。古田会長が引き続き委員長、メンバーは新年度会長を中心に選定することを承認。
 - ⑦ 佐藤節子部長より、区役員会報告に加え、感謝の意を込め、この1年の部活動報告があった。
 - ⑧ 各クラブ会長活動報告
 - ⑨ YMCA行事予定報告
 - ⑩ 辻剛エクステンション委員長より『横浜つるみクラブ』設立への部全体での取り組み・協力への感謝の言葉があった
 - ⑪ 鈴木茂監事による会計監査(7月4日予定)
- 最後に、YMCA歌、部長バッジの引き継ぎ、閉会点鐘で終了した。横浜クラブ参加者:青木、伊藤、金子、古田、古賀。

今村さん「ありがとう」感謝会報告

金子 功

横浜クラブに26年間在籍した今村讚ワイズが6月末日をもって退会することになった。年齢が理由ではないとはいうものの来年1月に90歳を迎えることを考えればいたしかたないとも思える。今村さん率いるコロへ今村ハワイアンのお仲間には随分とお世話になった。

毎年8月のクラブ例会は納涼会と合わせ、例年、今村さん



感謝会出席者一同

率いるハワイアンバンドと5人の美女軍団によるハワイアンダンスで盛り上げて貰った。お世話にな

ったのは、クラブだけではない。湘南・沖縄部も時として、新年会や、部大会でハワイアンを演奏して貰い、都度会を盛り上げて貰った。

6月21日(金)、今村さんに我々の感謝の気持を示す感謝会を横浜中華街の廣東飯店で行った。参加は伊藤メネットを含む9人の横浜クラブメンバーと加藤利榮さんをはじめ今村さんと親交のあった5人の他クラブのワイズ仲間が加わり、今村さんに関わる思い出話や、エピソードに花が咲いた。今村さんとあって、食事のメニューも2段階ほどレベルを上げてのご馳走であった。

今村さんにも満足いただけたのであろう。伊藤メネットから感謝の象徴として赤いバラを贈り、ご挨拶をいただいた時には、いつもの今村節で、「今日出席のみんなに、美貴もなかを送るよ。」と約束してくれた。(拍手)



コロヘ今村&レイキングスの演奏活動はまだまた続けるとのことで、今後の活躍にエールを贈ってお開きとなった。

「第85回Y-Y's 協議会報告」

伊藤 誠彦

第85回YMCA-Y's協議会が6月4日(火)19:00～20:30、横浜中央YMCA501教室で開催されました。今回は鎌倉クラブの担当。三上担当主事の司会により、讃美歌、聖書朗読、祈祷による開会礼拝で始められました。

議事は千葉鎌倉クラブ会長により進められ、佐藤部長挨拶に続き、今春より青木担当主事が責任者を務める日本語学科より「留学生支援体制の現状と今後の課題」と題して3人のスタッフによる発表がありました。

発表者は韓国の金さん、マレーシアのChowさん、中国の鄭さん。青木さんが「私の日本語より上手です」と言うだけあってなかなか達者な日本語を駆使して話され、出席者一同感心することしきりでした。

報告事項としては、横浜YMCAから会員総会の参加者の実績報告と湘南とつかYMCA25周年が90数名の参加者を得て開催されたこと、チャリティランが今年は11月16日の開催になり、会場の都合により天候による順延は不可能なため小雨決行のアナウンスがありました。

ワイズからは佐藤部長より4月20日の第3回部評議会の結果報告、各クラブ会長からクラブトピックスの報告があり定刻に終了。次回は9月3日、担当は横浜とつかクラブ。

出席者は総勢20名、内、横浜は青木、伊藤、古田の3名。

「第22回東日本区大会」

金子 功

第22回東日本区大会は6月1日(土)～2日(日)東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。今年のテーマは、「つなごう平和への道しるべ」。30名を超える西日本区からの参加者も交え400名余りのワイズメンが一堂に介した。初日最初のプログラムは代議員会である。年次報告とともに、すべての議案はスムーズに承認された。



伝統のバナーを掲げる古田会長

午後にはバントワリングに迎えられて開会した恒例のバナーセレモニーである。例年のことながら東日本区全63クラブの会長が部毎に各クラブのバナーを掲げて居並ぶ光景は壮観であった。

開会点鐘、ワイズソング・信条唱和に続き来賓の挨拶があった。メモリアルアワーでは感謝と祈りが捧げられたが、例年より召天者が多いと感じられた。理事年次報告、各部長報告では、佐藤部長に限られた時間の中、軽妙な語り口で各湘南・沖縄部の活動状況を報告した。

今年度の奈良傳賞は甲府クラブの大澤英二ワイズと宇都

宮クラブの十河弘ワイズに贈られた。

基調講演は、現職大統領としては初めて広島を訪問したオバマ前大統領に抱擁された歴史研究者の森重昭氏であったが、今年のテーマに相応しい内容であった。映画「灯籠流し Paper Lantern」を20分にまとめた縮小版を鑑賞した後、森重昭氏のお話を聞いた。原爆の犠牲となったアメリカ兵の遺族との交流を追った映画である。「戦争は決して許してはいけません。」という言葉には迫力があつた。

晩餐会は二重の豪華な折り詰め弁当で、美酒に酔いしれる交流と懇親のひとつきであった。

翌日は日曜礼拝に始まった。石巻クラブ清水弘一ワイズによる東北大震災からの復興についての報告があつたが、これは、近年恒例のプログラムになっている。東北を忘れないために貴重なプログラムである。

各事業部長の報告では各種の表彰が行われた。湘南・沖縄部には横浜つるみクラブのチャーターが評価され、EMC特別賞が授与された。横浜クラブはすべての献金カテゴリーで達成賞を獲得し、全献金達成クラブとして明記された。

最後に理事および、区役員の引き継ぎ式が厳粛な雰囲気の中で行われた。次期理事山田敏明ワイズ(十勝クラブ)の宣誓は会場に響き渡る大きな声で自信に満ち溢れていた。

横浜クラブからの参加者：青木、金子、齋藤、田口、古田

「横浜つるみクラブチャーターナイト報告」

古田 和彦

6月16日(日)、16時から横浜市鶴見区地域ケアプラザにおいて、湘南・沖縄部を挙げて準備してきた新クラブ「横浜つるみワイズメンズクラブ」のチャーターナイトが行われた。

第1部は国際協会加盟認証状伝達式。辻剛ワイズ(つづき)の司会で厳かに進められた。久保勝昭新会長による開会点鐘、吉本正子ワイズ(つるみ)のピアノ伴奏で一同高らかにワイズソングを歌い、ワイズの信条を唱和した。来賓紹介の後、新クラブ設立経過報告が辻部エクステンション委員長と久保設立準備委員長(会長)からなされた。次は、メインイベントの国際協会加盟認証の伝達。宮内友弥東日本区理事の式辞・お祝いの言葉のあと、田中博之アジア太平洋地域会長からムン・サン・ポン国際会長、ジョース・ヴァルギース国際書記長両人署名の加盟認証状が久保会長に伝達された。そして、メンバー9人全員にチャーターバッジが付けられた。

久保会長から決意表明が披露され、メンバー1人1人の紹介があつた。続いて、横浜YMCA理事長工藤誠一さん、横浜YMCA総主事田口努さん(山添訓主事代読)、東日本区EMC事業主任伊丹一之ワイズ(東京むかで)からお祝いの言葉が述べられた。さらに、東日本区から鐘・ギャベル等と10万円が、湘南・沖縄部から16万円が贈られた。久保会長から謝意と共に新しいバナーの紹介があつた。うたごえ広場を母



横浜つるみクラブ チャーターナイト参加者一同

体とし、女性が多いクラブらしくピンクの背景に折り鶴と音譜が舞うデザインをみんなで考えたとのことであった。久保会長の閉会点鐘をもって第1部を無事終了した。

記念撮影の後、第2部祝会。司会は今城高之ワイズ(つづき)と千葉裕子ワイズ(鎌倉)。湘南・沖縄部直前部長の金子功ワイズが開会の言葉を、東日本区直前理事の栗本治郎ワイズ(熱海)、次期理事の山田敏明ワイズ(十勝)から祝辞が述べられ、加藤利榮ワイズ(とつか)の発声で乾杯した。懇談会食し、その間、横浜つるみの皆さんから音楽演奏・歌が披露された。最後に新クラブ書記の久米康子ワイズがお礼の言葉を述べ、一同でYMCAの歌を歌い、久保会長の閉会の言葉で19:00閉会した。

参加者 93名、横浜：青木、金子、古賀、齋藤、古田。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：6月27日(木)17:00~19:30

場所：横浜中央YMCA 801号室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、古田

行事予定等の確認。7月19-21日のアジア大会参加予定者は、大高、金子、古賀、齋藤ワイズ。部長公式訪問は、7月27日の部評議会議会に来浜される森田部長のご都合に合わせて、第2例会を7月27日に繰り下げ実施することも検討されたが、後日、その案は否定、第2例会は当初予定通り7月25日に開催することに決定。8月2-4日のAIDS文化フォーラムには古田会長が初日に参加する予定。

8月22日に他クラブと合同で納涼会を実施する。会場候補は古田会長自ら探してこられたロイヤルホールヨコハマ。各クラブに共同開催を呼びかける。8月第2例会は無し。

青木担当主事からは、9月2日の日本語スピーチコンテスト開催要領の説明があった。

6月第二例会の主要テーマは、第1例会での協議を受けて総会資料のドラフトを完成させること。前年度迄の総会資料のソフトコピーをテンプレートにして余り手間暇かけずにPCを活用して作成できるはずであったが、資料の細かいところの指定がうまくいかず、些細なことだが、高齢者特有の新技術への不応問題が浮き彫りになった。



担当主事 青木 一弘

●第26回 AIDS文化フォーラム in 横浜 開催

AIDS文化フォーラム in 横浜は、HIV・エイズに関わるNGO、NPOと市民ボランティアによるフォーラムです。毎年8月に3日間開催されます。このフォーラムは、今年も、教育、医療、看護、女性、薬害、PLWHA(HIV・エイズと共に生きる人々)、人権、社会問題、セクシュアリティ、国際etc. 多くの社会的課題を考える場となります。

(イベントボランティアも募集しています。)

日時 8月2日(金)~8月4日(日)

場所 かながわ県民センター

その他 参加自由・入場無料

●第7回日本語スピーチコンテストのご案内

このコンテストには、横浜YMCA学院専門学校の日本語学科で勉強している学生と東京YMCAにほんご学院、YMCA東京日本語学校、YMCA健康福祉専門学校、YMCA国際ビジネス専門学校からの招待参加者が出場します。日本語を学ぶ学生達の思いを聞きにいらしてください。

日程：2019年9月2日(月)

時間：スピーチコンテスト 10時~12時30分

交流会 13時~14時

場所：神奈川県民ホール(小ホール)、
横浜中央YMCA 8階教室(交流会会場)

2018年参加学生の出身地：ベトナム、韓国、台湾、中国、
フィリピン、ネパール、マダガスカル

7月例会プログラム

日時：7月11日(木) 18:30~20:30

場所：横浜中央YMCA 811教室

司会：伊藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 全員
3. 今月の聖句 古田会長
4. ゲスト・ビジター紹介 古田会長
5. 食前感謝 田口ワイズ
6. 食事
7. 総会
議長選出と定足数の確認
議案の審議
第1号議案 18-19年度事業結果報告・古田会長
事業報告、会員異動、例会出席、評価
第2号議案 18-19年度各事業報告 各事業委員
第3号議案 18-19年度会計報告 伊藤会計
第4号議案 19-20年度クラブ役員と
事業委員の確認 古田会長
第5号議案 19-20年度活動方針と
事業計画 古田会長
第6号議案 19-20年度予算案 大高会計
8. キックオフ例会 古田会長
9. 閉会点鐘 古田会長

例会報告：金子ワイズ

8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
2-4		17:00	AIDS文化フォーラム	県民センター
22	木	18:00	横浜クラブ第一例会・ 納涼会	ロイヤルホール ヨコハマ

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080